



日永貴章 議員

## 通学路の現状の安全確保は

### 質問

各地で、登下校中に痛ましい交通事故が相次いだことにより、通学路の安全性に対して、検証・確認が必要であると考えている。

児童・生徒たちの通学路決定までのプロセスは。

### 教育部長

安全性を最優先に、交通量が少なく、横断歩道などが設置されている事など、交通状況を考慮し設定している。

最も安全に通行できると思われる経路・順路・集合場所

を設置し、学校から、保護者・

地域の方々などと事前に協議し、必要に応じて教育委員会・警察など関係機関とも連携し、通学路の決定をしている。

交通量の多い横断箇所には、交通指導員の配置をし、また、教職員の登下校の指導が行われている。

日ごろから、防犯ボランティア、スクールガードなどに協力してもらい安全確保に尽力してもらっている。

### 質問

通学路の危険地帯などを把握しているのか。

### 教育部長

地域における危険箇所は把握している。

### 質問

防災無線整備について、現状と今後は。

### 総務部長

現在、広域で連携して事業実施ができるよう、調整作業を進めている。

### 総務部長

災害・防災対策として、市全域をカバーする目的で、デジタル同報系防災行政無線システムを今回計画している。

### 質問

開局目標や問題点は。

### 総務部次長兼安全対策課長

電波の周波数の確保などの課題はめどが立ってきた。

現在、実施の放送を担う運営主体をどのようにするのか、という課題が残っている。

早ければ、秋ごろには開局できるのではないかと。

補完的整備として計画されているコミュニティFMについて、現状の考え方は。

しかし、まだ山があると思われる。

### 市長

運営に係る経費・設置に係る経費など、まだ、協議が必要な課題が残っている。

広域的に利用できるコミュニティFMを有効に活用していきたい。

## 防災無線整備の現状と予定は

通学路の変更など、関係機関に要望していきたい。



本庁舎の同報無線機器